R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート２】

【研修テーマ】 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり				
10月 31日(月)	行橋市立長峡中学校	３年 １組	授業者	鈴木 智哉
教科名	国語科	単元名	合意形成に向けて話し合おう	

【授業づくりの３つのステップ】

① 実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にする。単元をデザインする。

② 本時の主眼を明確にし、評価規準、まとめ、めあてを考える。

③ 本時の導入、展開、終末の手だてを考える。

＜ステップ１ 単元をデザインしよう！＞

① 学級の実態とその要因

本学級は、一人一人元気が良く、授業にも意欲的である。その一方で、答えがわからない時は、静観する様子が全体的に見られる。要因は、正解か不正解の二択で考える傾向が強く、「間違えたくない」や「自信がない」といった雰囲気からである。

② 単元を通して身に付けさせたい力（学習指導要領を参照）

〔知識及び技能〕 (２)情報の扱い方に関する事項

ア 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと聞くこと

オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。

③ ②を支える資質能力を基に、単元をデザインしましょう。

一次

１時

・議題の選定(既習事項の人工知能との未来/人間と人工知能と創造性を用いて決める。)

・合意形成について

二次

２時

・個人の見解

※既習事項を振り返ったり、ブレーンストーミングを用いたりする。

三次

３時(本時)

・座標軸(ロイロノート)を用いて班で合意形成

・全体交流

・班、全体での交流を受けて個人の見解

四次

４時

合意形成及び話合いの振り返り

単元を通した問い

どのような話合いをすれば、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができるのか考えよう。

授業実践を予定している授業	合意形成に向けて話し合おう

※ このシートのデータ（Word ファイル）を京築教育事務所のホームページに掲載しています。

<u>８月４日（木）までに清書し、京築教育事務所 中野 宛に ＦＡＸで提出してください。</u>

第２回は、シート２とシート３をもとに、授業づくりの協議を行います。

R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート３】

【研修テーマ】　主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり				
10月　31日(月)	行橋市立長峡中学校	３年　　１組	授業者	鈴木　智哉
教科名	国語科	単元名	合意形成に向けて話し合おう	

【授業づくりの３つのステップ】

① 実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にする。単元をデザインする。 ⇒ ② 本時の主眼を明確にし、評価規準、まとめ、めあてを考える。 ⇒ ③ 本時の導入、展開、終末の手だてを考える。

＜ステップ２　授業の内容を決めよう！＞

＜主眼＞	＜評価規準と評価の方法＞
「これからの時代に自分が大切だと思うこと」を班で話し合い、自分の考えを再構築する活動を通して，班での合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしたことをワークシートに記述することができる。	班、学級での合意形成をもとに、自分の考えを再構築、付加、修正、強化を行い、考えを広げたり深めたりしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) ・ワークシートの記述より評価
＜めあて＞ 各班との交流をもとに、自分の考えを再構築しよう。	＜まとめ＞ 本時では、「振り返り」を行い、自分の考えの再構築や付加、修正、強化ができたか。また、班での話合いの様子を振り返らせることで終末とする。

＜ステップ３　授業の方法を決めよう！＞

	主な学習活動・内容	主な手だて
【導入】	1　前時の復習	・前時の内容を思い出させるために、ワークシートを振り返り、自分の考えを確立させる。
	2　めあての確認	・生徒と対話しながら本時のめあてを考えさせる。
	めあて　各班との交流をもとに、自分の考えを再構築しよう。	
【展開】	3　班で、「これからの時代に大切なこと」の意見交流を行う。	・班での意見交流の際に合意形成できるよう、座標軸(ロイロノート)を用いて意見を整理させる。
	4　班での交流の発表	・個人及び自分の班の考えと同じ(似ている)部分や異なる部分を比較するために、メモを取りながら聞かせる。
	5　各班の意見交流をもとに「人工知能」及び「これからの時代に大切なこと」に対する自分の考えを見直す。	・導入の段階で振り返った自分の考えや各班の交流をもとに、自分の考えを見直すよう促し、自分の考えを再構築させる。 ・自分の考えをもって学級での合意形成に移ることができるために、机間巡視を行い、困っている生徒に声かけをし、自分の考えをもたせる。
【終末】	6　各班の発表や班での合意形成を振り返る。	・めあてに対して本時の活動を自己評価させるために、視点をもたせて振り返りをさせる。
	7　次時の連絡	

R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート２】

【研修テーマ】 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり					
10月31日(月)	苅田町立苅田中学校	1年	5組	授業者	石戸 秀弥
教科名	国語	単元名	蓬来の玉の枝 -「竹取物語」から		

【授業づくりの３つのステップ】

① 実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にする。単元をデザインする。 → ② 本時の主眼を明確にし、評価規準、まとめ、めあてを考える。 → ③ 本時の導入、展開、終末の手だてを考える。

<ステップ１ 単元をデザインしよう！>

① 学級の実態とその要因

・多くの生徒が、授業に主体的に参加しているが、物事を多面的・多角的に捉えられず、他の生徒の意見や考えに理解を示せないことが見られる。
また、自分の考えをもつことが苦手な生徒も見られる。

② 単元を通して身に付けさせたい力（学習指導要領を参照）

・現代と古典の文章の違いを知り、古典特有のリズムに親しむ。
・各場面の叙述を基に、かぐや姫の人物像を読み取る。
・互いに意見を述べ、学び合う姿勢。

③ ②を支える資質能力を基に、単元をデザインしましょう。

〔5時限構成〕

1 本文を通読し、現代と古典の文章を比較する。（相違・共通）

2 ① 冒頭部分の音読（暗唱）をする。② 竹取物語の内容をつかむとともに、

3 ① 冒頭部分の音読（暗唱）をする。
② 紹介する場面ごとに班を分け、かぐや姫の人物像を読み取る。 ⇒各自→各班
- かぐや姫が成長し、貴公子が求婚する場面。
- くらもちの皇子をはじめとする貴公子たちへ帝からの求婚を受ける場面。
- 三年の月日が流れ、かぐや姫が月に帰る場面。

4 ① 冒頭部分の音読（暗唱）をする。② 班で共有したかぐや姫像を基に、かぐや姫の紹介文を作成する。
③ 各班で発表する。

5 「竹取物語」の動画を見る。（登場しない4人の貴公子 と かぐや姫について）
授業の振り返りをする。

単元を通した問い

「竹取物語」のかぐや姫像や描写の読み取りを通して、古典の世界に親しもう。

授業実践を予定している授業	10月31日(月) 第4時限目

※ このシートのデータ（Word ファイル）を京築教育事務所のホームページに掲載しています。

８月４日（木）までに清書し、京築教育事務所 中野 宛に ＦＡＸで提出してください。

第２回は、シート２とシート３をもとに、授業づくりの協議を行います。

R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート３】

【研修テーマ】 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり				
10月 31日（月）	苅田町立苅田中 学校	1 年 5 組	授業者	石戸 秀弥
教科名	国語	単元名	蓬来の玉の枝 -「竹取物語」から	

【授業づくりの３つのステップ】

① 実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にする。単元をデザインする。 → ② 本時の主眼を明確にし、評価規準、まとめ、めあてを考える。 → ③ 本時の導入、展開、終末の手だてを考える。

＜ステップ２ 授業の内容を決めよう！＞

＜主眼＞	＜評価規準と評価の方法＞
かぐや姫の人物像を読み取り、班で協力し、かぐや姫の紹介文を作ることができる。	・各場面のかぐや姫の人物像を読み取れているか。（叙述を基に自分の考えをもつことができる。）⇒プリントの記述・発表内容。 ・班で協力し、紹介文を作り発表できているか。⇒班活動・プリント内容発表。 ・発表をしっかり聞いているか。⇒授業態度・プリントの記述内容。
＜めあて＞	＜まとめ＞
かぐや姫の人物像について考え、紹介文を作り、発表しよう。	「竹取物語」の描写を基に、かぐや姫の人間性について自分の考えをもち、相手に伝えることができた。

＜ステップ３ 授業の方法を決めよう！＞

	主な学習活動・内容	主な手だて
【導入】	・前時の復習をする。（「竹取物語」の概要） ・冒頭部分の音読（暗唱）をする。（各班） ・本時の流れを確認して、各班で作業の準備をする。	・{①「竹取物語」の一問一答。 ②　　、の概要を説明する。 ・机間指導を行う。班で楽しく読めるように声かけ。 めあて 各場面の描写を基に、かぐや姫の紹介文を作り、発表しよう。 ・班活動をする際のルールの再確認をする。 ・個→班　班→個の動きをスムーズにする。・相手の意見を否定しない。 ・授業に関係のない話をしない。
【展開】	・各班で選んだ場面ごとのかぐや姫の人物像を考える。（どんな人？他の登場人物との関係は？ etc） ・紹介文を作成し、それぞれ発表する箇所を決める。 ・全体で発表する。	・机間指導を行う。 予想される生徒の考え ・残忍や非道・優しい・かわいい ・泣き虫・超人 … ・机間指導を行う。 かぐや姫の人物像について、なぜそう思ったのか？他の登場人物との関係はどうなのか… などを整理する。
【終末】	・本時のまとめを行う。 まとめ 各場面のかぐや姫像を叙述を基に読み取り、作成した紹介文を交流し、古典の世界に親しむことができる。	

※ このシートのデータ（Word ファイル）を京築教育事務所のホームページに掲載しています。

８月４日（木）までに清書し、京築教育事務所 中野 宛に ＦＡＸで提出してください。

第２回は、シート２とシート３をもとに、授業づくりの協議を行います。